

市町村名	伊江村							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-①	村立診療所人工透析施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(3)		
担当部課名	福祉保健課	事業実施 (予定)年度	平成24～25年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	健康福祉セーフティネットの充実 Ⅲ-9		
事業内容	人工透析患者の住民が、離島である本村で安心して暮らせるようにするとともに、本村に訪れる人工透析が必要な観光客に対し、安全・安心な観光を提供するため、人工透析施設を整備する。平成24年度に基本設計等の委託調査、平成25年度に設備工事等を行い、人工透析の治療が行える医療環境を整える。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	33,195					
		(b)予算現額	30,321					
		(c)増減額(b-a)	▲2,874					
		(d)前年度繰越額	—					
		A.計(b+d)	30,321					
	B.執行済額		30,321					
	うち交付金充当額		24,256					
	次年度繰越額		0					
	執行率(%) (B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		事業初年度ということもあり当初予算では、計上できなかったが計画を推進していくにあたり満額執行となった。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
				24年度	25年度	26年度	27年度	
	・人工透析施設の実施設計	目 標	(実施設計)	()	()	()	()	
		実 績	実施設計					
	・人工透析施設の用地購入	目 標	(用地購入)	()	()	()	()	
		実 績	用地購入					
達成 状 況 説 明	「人工透析検討委員会」などで、施設の規模や運用について検討を行い最終的な設計を行った。予定地の交渉も事業認定などを受け購入した。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H24成果目標(指標)			基準値 (年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)
	・人工透析施設の実施設計、用地購入	目 標	(ー)	(100%)	()	()	()	()
		実 績		100%				
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()	()
		実 績						
	進 捗 状 況 説 明	本年度の予定は計画通り実施することができた。 次年度は、人工透析施設の建設工事等を実施していく。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	医者、患者、有識者などで構成される「人工透析検討委員会」を設置し、人工透析施設の建設方針を決定した。 医師やスタッフの確保、医療報酬など様々な面からも検討を行い、採算性についても検討を行った。	25年度の施設整備に向けて当該事業計画は着実に進んでいる。 現在は透析施設の開所に向けた厚生医療などの各種手続きに努めている。
今後の取り組み方針		
本村の医療環境が改善されることで、人工透析患者の住民の心理的・経済的負担の軽減が図られ、また来島者に対しても安全・安心な観光を提供することができるよう課題等に取り組みたい。		

資金の流れ				
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
伊江村 30,321千円 委託料 24,150千円 きた建築設計事務所 19,845千円 (透析施設設計にかかる委託業務) (有)丸吉測量設計 4,305千円 (透析施設設置にかかる測量・地質調査委託業務) 公有財産購入費 6,171千円 予定地土地所有者 6,171千円 (人工透析施設用地購入費)				
		総事業費	交付対象事業費	交付金充当額
		30,321	30,321	24,256
				市町村負担金
				6,065
				交付対象外経費
資金の用途の流 点検・評価目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○業者選定は入札により選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	伊江村							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-①	伊江村立東保育所整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(2)		
担当部課名	福祉保健課	事業実施 (予定)年度	平成24年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	子育てセーフティネットの充実		
事業内容	幼児が安心・安全で快適に過ごすことができる新しい耐震基準(平成12年改正建築基準法)を満たす保育所を整備する。併せて現在の多様化した保育ニーズに対応できる保育環境を確保することにより、保護者の子育てと就労が両立できる環境を促進する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	303,118					
		(b)予算現額	283,038					
		(c)増減額(b-a)	▲ 20,080					
		(d)前年度繰越額	—					
		A. 計(b+d)	283,038					
	B. 執行済額		283,038					
	うち交付金充当額		226,430					
	次年度繰越額		0					
	執行率(%) (B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		事業初年度ということもあり当初予算では、計上できなかったが計画を推進していくにあたり満額執行となった。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
				24年度	25年度	26年度	27年度	
	・保育所の整備	目 標	(整備)	()	()	()	()	
		実 績	整備完了					
		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
達成 状 況 説 明	幼児が安心・安全で快適に過ごすことができる新しい耐震基準(平成12年改正建築基準法)を満たす保育所を予定通り整備することができた。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値 (年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)	
	・新しい耐震基準(平成12年改正建築基準法)を満たす保育所の供用開始	目 標	(—)	(供用開始)	()	()	()	
		実 績		供用開始				
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進 捗 状 況 説 明	幼児が安心・安全で快適に過ごすことができる耐震基準を満たす保育所を整備し、25年度からの運用を開始することが出来た。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	保護者の子育てと就労が両立できるよう、育児サークルなどと連携を図り、環境整備を促進する。	施設整備は出来たが、保育所の質の向上を心がけ、職員の研修や父母との連携を積極的に行い幼児が安心・安全で快適に過ごすことができる環境づくりに努める。
今後の取り組み方針		
子育てと就労が両立できる環境を促進し、幼児が安心・安全で快適に過ごすことができる保育所を目指す。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)						
		総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
		283,038	283,038	226,430	56,608	

伊江村
283,038 千円

委託料
10,920千円

(有)大成プラン
7,770千円

〔 建設工事監理業務 〕

城島測量設計
3,150千円

〔 建設工事現場技術業務 〕

工事請負費
258,153千円

(有)玉城建設・(有)比嘉組JV
183,519千円

〔 建設工事
(建築・周辺整備) 〕

(有)末吉電水工業・具志川電気商会JV
40,089千円

〔 建設工事
(電気設備) 〕

南西空調設備(株)・伊江電気工事社JV
34,545千円

〔 建設工事
(機械設備) 〕

備品購入費
13,965千円

南西空調設備(株)
8,925千円

〔 厨房器具購入 〕

(株)オキジム
5,040千円

〔 関連備品購入 〕

資金使途の流れ、費目・点検・評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○業者選定は入札により選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なもののなか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	伊江村						
平成 2 4 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	沖縄関係戸籍の電算化事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	3-2-(5)		
担当部署名	住民課	事業実施 (予定)年度	平成 2 4 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	米軍基地から派生する諸問題及び戦後処理問題の解決		
事業内容	本村で戸籍事務の電算化が未整備である沖縄関係戸籍(いわゆる福岡戸籍等)は、現在でも戸籍訂正やつぶれ地補償事務において、極めて重要な役割を果たしているが、紙媒体で保存されているため、劣化が著しい。安定的かつ継続的な沖縄関係戸籍に係る住民サービスを確保するため、紙媒体で保存されている沖縄関係戸籍を電算化する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	22,932				
		(b) 予算現額	14,910				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 8,022				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	14,910				
	B. 執行済額		14,910				
	うち交付金充当額		11,928				
	次年度繰越額		0				
	執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		事業初年度ということもあり当初予算では、計上できなかったが計画を推進していくにあたり満額執行となった。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・沖縄関係戸籍の電算化の実施 対象戸籍数:23, 620件	目 標	(23, 620件)	()	()	()	
		実 績	23, 620件				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成 状況 説明	本村で戸籍事務の電算化が未整備である沖縄関係戸籍(いわゆる福岡戸籍等)は、現在でも戸籍訂正やつぶれ地補償事務において、極めて重要な役割を果たしているが、紙媒体で保存されているため、劣化が著しい。安定的かつ継続的な沖縄関係戸籍に係る住民サービスを確保するため、紙媒体で保存されている沖縄関係戸籍を電算化した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値 (23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)
	沖縄関係戸籍の電算化率:100%	目 標	(0%)	(100%)	()	()	()
		実 績		100%			
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進 捗 状 況 説 明	現行システムとの連動した、沖縄関係仮戸籍等の文書について全て電算化が行われ、システムから証明書として交付することが可能となった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	沖縄は戦争にて戸籍関係の書類が焼失し、戦後に作成された仮戸籍等をもとにして戸籍が作成され、現在の戸籍に至っています。今回電算化した仮戸籍等の文書については経年劣化が激しく早期の電算化が求められていたものがあります。これらが電算化されたことで、今後証明書としての安定的な交付が可能になり、市民ニーズに対応することが可能になりました。今回の事業については予定通り全て電算化が終了し、特に課題等はありません。	沖縄関係仮戸籍等の電算化は全て終了しており、データの取り込みについても問題は見当たりません。今後は電算化したデータについて適正に活用していきたい。
今後の取り組み方針		
今回の事業によって電算化がもたらす効果が明確になり、今後、戸籍の附票や戸籍届書の受付帳など電算化可能な戸籍関係書類についても永年保存に向けて電算化することが今後の検討課題にあげられます。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象 事業費</th><th>交付金 充当額</th><th>市町村 負担金</th><th>交付対象 外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>14,910</td><td>14,910</td><td>11,928</td><td>2,982</td><td></td></tr> </tbody> </table> 伊江村 14,910千円 → 委託料 14,910千円 → 富士ゼロックスシステムサービス株式会 社 14,910千円 沖縄関係仮戸籍等電子化にかかる委託業務 1. 原簿の解体及びナンバーリング 2. 原簿のスキャン作業 3. データの見出し作成 4. データのシステムへの取り込み 5. 出力検査 6. データ納品					総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	14,910	14,910	11,928	2,982	
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費										
14,910	14,910	11,928	2,982											
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○業者選定は入札により選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	伊江村												
平成 2 4 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】													
事業番号・事業名	4-①		フラワーロードプロジェクト推進業務(花の苗購入)				沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(2)				
担当部署名	商工観光課			事業実施(予定)年度		平成24年度		沖縄振興基本方針該当箇所		世界水準の観光リゾート地の形成 Ⅲ-1-(1)			
事業内容	本村では夕日とロマンのフラワーアイランドとして、4月にはゆり祭り、12月にはハイビスカス祭りと花のイベントを行い観光振興を図ってきた。しかし、ゆり祭り、ハイビスカス祭りの時期以外にもフラワーロードプロジェクト推進業務において沿道を四季を通じた植栽を行い整備し観光の向上を図る。												
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他（ ）												
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		24年度		25年度		26年度		27年度		28年度		
			(a) 当初予算額		8,235								
			(b) 予算現額		5,350								
			(c) 増減額 (b-a)		▲ 2,885								
			(d) 前年度繰越額		-								
	A. 計 (b+d)		5,350										
	B. 執行済額		5,350										
	うち交付金充当額		4,279										
	次年度繰越額		0										
	執行率(%) (B/A)		100.0%										
予算の状況の説明		事業初年度ということもあり当初予算では、計上できなかったが計画を推進していくにあたり満額執行となった。											
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)			達成状況									
	・主要幹線道への花の苗本数:2,400本			24年度		25年度		26年度		27年度			
				目標 (苗2,400本)		()		()		()			
				実績		苗2,400本							
				目標 ()		()		()		()			
				実績									
				目標 ()		()		()		()			
				実績									
	達成状況説明		本事業において花の苗・用土・プランターの購入し、地元の老人クラブ等と連携し観光地までの苗植え付けを行った。										
	成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)			基準値(23年度)		24年度		25年度		26年度		目標値(年度)
・主要幹線道への花の苗本数:2,400本			目標 (0)		(苗2,400本)		()		()		()		
			実績		苗2,400本								
			目標 ()		()		()		()		()		
			実績										
			目標 ()		()		()		()		()		
			実績										
進捗状況説明		主要幹線道に花(プランター)を設置することで景観の向上を図る事が出来た。また地域住民と連携を図る事により、観光への意識向上を図る事が出来た。											

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・タ日とロマンのフラワーアイランドとして県内外へアピールしているが、ゆり祭り・ハイビスカス以外の時期には花が少ない事が課題となっている。	多くの団体や住民が協力し、環境美化を通して観光に携わることで観光地としての更なる意識向上を図る。
今後の取り組み方針		
観光地までの沿道を四季を通した草花で整備し、地域との連携を図り、タ日とロマンのフラワーアイランドとして取り組んでいきたい。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)																	
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>5,350</td><td>5,350</td><td>4,279</td><td>1,071</td><td></td></tr></table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	5,350	5,350	4,279	1,071				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費													
5,350	5,350	4,279	1,071														
<table><tr><td rowspan="3">伊江村 5,350千円</td><td>原材料費 148千円</td><td>新緑園 園芸センター 148千円</td><td colspan="2">〔花の苗購入:2,400本〕</td></tr><tr><td>原材料費 372千円</td><td>新緑園 園芸センター 372千円</td><td colspan="2">〔用土購入(カヌマ土、ココピー ト、パーメキュライト)〕</td></tr><tr><td>備品購入費 4,830千円</td><td>(有)フタバ種苗 4,830千円</td><td colspan="2">〔プランター購入:200個〕</td></tr></table>					伊江村 5,350千円	原材料費 148千円	新緑園 園芸センター 148千円	〔花の苗購入:2,400本〕		原材料費 372千円	新緑園 園芸センター 372千円	〔用土購入(カヌマ土、ココピー ト、パーメキュライト)〕		備品購入費 4,830千円	(有)フタバ種苗 4,830千円	〔プランター購入:200個〕	
伊江村 5,350千円	原材料費 148千円	新緑園 園芸センター 148千円	〔花の苗購入:2,400本〕														
	原材料費 372千円	新緑園 園芸センター 372千円	〔用土購入(カヌマ土、ココピー ト、パーメキュライト)〕														
	備品購入費 4,830千円	(有)フタバ種苗 4,830千円	〔プランター購入:200個〕														
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明														
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○業者選定は入札により選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。														
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。															
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。															
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。															

市町村名	伊江村						
平成 2 4 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-②	ハイビスカスプロジェクト推進業務（ハイビスカス苗購入）		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)		
担当部署名	商工観光課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成		
					Ⅲ-1-(1)		
事業内容	本村では色とりどりのハイビスカスを揃え、観光資源（ハイビスカス園）の整備を目指している。全国でも多種のハイビスカスの品種を揃えるため、新たに500種の導入を行い、品種の増産とまたハイビスカスで沿道及び観光地を整備し観光の向上を図る。						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,000				
		(b) 予算現額	735				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 265				
		(d) 前年度繰越額	－				
		A. 計 (b+d)	735				
	B. 執行済額		735				
	うち交付金充当額		588				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		事業初年度ということもあり当初予算では、計上できなかったが計画を推進していくにあたり満額執行となった。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・ハイビスカス苗500種購入育成	目 標	(ハイビスカス 500種)	()	()	()	
		実 績	ハイビスカス 500種				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	本事業において予定していた新たなハイビスカス500種を導入する事ができた。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	・ハイビスカス苗500種購入育成	目 標	(0)	(ハイビスカス 500種)	()	()	()
		実 績		ハイビスカス 500種			
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	県内で多くのハイビスカスの品種が見られる島として、導入した苗の育成にあたり、また観光地への植栽を行い観光振興に繋げていきたい。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・沿道及び観光地へ増産したハイビスカスの植栽を行っていく必要がある。 ・ハイビスカスの島として、品種の掛け合わせや新たな品種を増やしていく必要がある。	・ハイビスカスを増産し観光地の整備を行う。 ・新たなハイビスカスの品種改良に努める。
今後の取り組み方針		
ハイビスカスが、順調に生育していることから現在の状況を維持し、新たなハイビスカスの改良に努める。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>735</td><td>735</td><td>588</td><td>147</td><td></td></tr> </table> 伊江村 735千円 原材料費 735千円 樹香苑 735千円 ハイビスカス購入:500本					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	735	735	588	147	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
735	735	588	147											
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	伊江村						
平成 2 4 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4－③	村花・世界のゆり植栽推進業務(ゆり球根購入)		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)		
担当部署名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24年～27年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成		
事業内容	本村では4月中旬から5月上旬にかけ、リリーフィールド公園において100万輪のユリが咲き誇り多くの観光客が伊江島を訪れています。しかし、球根の更新などで新たな球根の増殖が難しく、本事業において優良な球根を導入し増殖させると共に、世界各地の球根を導入しイベントの向上を図る。						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,100				
		(b) 予算現額	899				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 1,201				
		(d) 前年度繰越額	－				
		A. 計 (b+d)	899				
	B. 執行済額		899				
	うち交付金充当額		719				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		事業初年度ということもあり当初予算では、計上できなかったが計画を推進していくにあたり満額執行となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・ゆり球根30,000球購入植栽	目 標	(ゆりの球根購入 30,000球)	()	()	()	
		実 績	ゆりの球根購入 30,000球				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	テッポウユリ20,000球と世界のゆり10,000球の購入し植栽する事ができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	・ゆり球根30,000球購入植栽	目 標	(0)	(30,000球)	()	()	()
		実 績		30,000球			
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	交付金を活用して購入した球根を、順調に生育し約80,000輪のゆりが咲き、ゆり祭り期間に訪れた約30,000人を魅了することができた。また、県内でも普段見ることのできない世界のゆりも開花させることが出来た。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・テッポウユリ球根購入を行い古い球根の更新を行う必要がある。 ・世界各地の、ゆり球根を購入し、栽培展示を行うが植付け時期の検討を行う必要がある。	・テッポウユリに比べ世界のユリは開花までに時間がかかる。テッポウユリの開花時期に合わせることで、公園全体のボリュームが増え、祭りが盛り上がる事から、世界のゆりの植栽管理を行いイベントの向上を図る。
今後の取り組み方針		
・テッポウユリにおいては順調に生育したが、まだまだ球根が足りないので球根を購入し、球根の品質向上を図っていきたい。 ・世界のユリにおいては、初めての試みということもあり、開花したもののテッポウユリの開花時期と若干合わず、今後は適切な植えつけ時期の検討を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>899</td><td>899</td><td>719</td><td>180</td><td></td></tr> </table> 伊江村 899千円 原材料費 899千円 新緑園 園芸センター 899千円 (ゆり球根 購入 テッポウユリ球根:20,000球 世界のゆり球根:10,000球)					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	899	899	719	180	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
899	899	719	180											
資金の流 れ、費目・ 点検・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	伊江村							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4-④	名称・景勝地等案内板設置工事			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)		
担当部課名	商工観光課	事業実施（予定）年度	平成24年度		沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	本村には毎年14万人もの観光客が訪れているが、観光地までの案内板等が少ないため、今回の事業において案内板を整備し観光客をスムーズに観光地へ誘導する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	17,133					
		(b) 予算現額	16,170					
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 963					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	16,170					
	B. 執行済額		16,170					
	うち交付金充当額		12,936					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		事業初年度ということもあり当初予算では、計上できなかったが計画を推進していくにあたり満額執行となった。						
活動目標（指標） 及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
				24年度	25年度	26年度	27年度	
	・観光案内板の設置：32箇所	目 標	（ 32箇所 ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	32箇所					
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績						
達成状況説明	村内各観光地までの導線として本村の外周を中心に観光地名と誘導案内板28基を設置し、名称案内板2基・観光説明板2基の設置を行った。							
成果目標（指標） 及び進捗状況	H24成果目標（指標）			基準値 （23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値 （ 年度）
	・観光案内板の設置：32箇所	目 標	（ 0 ）	32箇所	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績		32箇所				
	【参考指標】	目 標	（ 0 ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績						
	進捗状況説明	誘導案内板を設置することで観光地までの誘導がスムーズに行うことが出来るようになった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・県のガイドラインに照らし合わせ看板設置場所の検討を行ったが、村道から観光地へ向かう観光客などが迷う場合がある為、今後検討を行う必要がある。	・県道からの誘導案内板の整備は順調に進んでいるが、村道等の誘導案内板については、各地域の団体(区長会など)の意見を求め整備していく必要がある。
今後の取り組み方針		
県道からの誘導案内板は整備が進んでいるので、今後も検討会等を行い、新たな誘導板の設置について取組むことにより観光の向上を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
		総事業費	交付対象 事業費	交付対象 外経費
		16,170	16,170	
			交付金 充当額	市町村 負担金
			12,936	3,234

伊江村
16,170千円

委託料
1,155千円

工事請負費
15,015千円

(株)シビルエンジニアリング
1,155千円

(株)沖縄工設
15,015千円

案内板の設計業務

案内板の設置工事

資金の 使途の 点検・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○業者選定は入札により選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なもののなか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	伊江村						
平成 2 4 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-⑤	観光客誘客環境整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)	
担当部署名	商工観光課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成		
事業内容	伊江村青少年旅行村には、海水浴客やキャンプ利用客が訪れ賑わっているが、青少年旅行村にはハブフェンスがなく、時折、キャンプ場内において蛇の目撃が報告されている。そこで観光客がより安全に楽しめるためにフェンスの設置を行った。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）	予算の状況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
		(a) 当初予算額	46,047				
		(b) 予算現額	44,832				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 1,215				
		(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	44,832					
	B. 執行済額	44,832					
	うち交付金充当額	35,864					
	次年度繰越額	0					
	執行率（％）(B/A)	100.0%					
予算の状況の説明	事業初年度ということもあり当初予算では、計上できなかったが計画を推進していくにあたり満額執行となった。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・防護フェンス設置数	目 標	(1 個所)	()	()	()	
		実 績	1 個所				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	村立青少年旅行村にハブフェンス（高さ140cm×約700m）の設置を行った。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	・防護フェンス設置数	目 標	(0)	(1 個所)	()	()	()
		実 績		1 個所			
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	ハブフェンスの設置により、村立青少年旅行村へのハブの侵入が防げるようになり、施設内の安全性が高まった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・フェンス外からの侵入は防げるが、フェンス内にはハブが生育している可能性があることから、フェンス内のハブ捕獲を行う必要がある。	フェンス内に捕獲機を設置することにより、フェンス内のハブを駆除することが必要である。
今後の取り組み方針		
今後もフェンス内にハブ捕獲機等を設置し、フェンス内のハブの根絶に努め、ハブによる咬傷被害がなくなるよう取り組んでいく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>44,832</td><td>44,832</td><td>35,864</td><td>8,968</td><td></td></tr> </table> 伊江村 44,832千円 委託料 6,780千円 (株)東陽エンジニアリング 6,300千円 (株)東陽エンジニアリング 480千円 工事請負費 38,052千円 (株)沖縄工設 ハブフェンスの設計業務 ハブフェンスの工事現場技術業務 ハブフェンスの設置工事					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	44,832	44,832	35,864	8,968	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
44,832	44,832	35,864	8,968											
資金の 使途の 流れ、 点検 評価 ・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○業者選定は入札により選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												